

平成15年度共同利用一覧

一般共同研究 (研究期間:平成15年4月1日-平成16年3月31日)				
(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)				
課題番号	代表者名	所属機関	担当教官	研究課題
2003-G-01	川本竜彦	京大院理附属地球熱学研究施設	藤井敏嗣	地球内部の水にとむフルイドの化学組成
2003-G-02	三尾典克	東大・新領域	新谷昌人	地殻変動観測機器用の半導体レーザーの絶対波長安定化の研究
2003-G-03	小野重明	海洋科学技術センター	安田 敦	上部マントル中でのフルイドの濡れ角の測定
2003-G-04	渡邊 了	富山大・理	栗田 敬	マグマ発生場における浸透流からチャネル流への遷移に関する実験的研究
2003-G-05	高橋嘉夫	広島大・院理	中井俊一	XAFS法を用いたイオウの状態分析の火山岩への応用
2003-G-06	石原 靖	横浜市立大・総合理学	菊地正幸	広帯域地震観測アレーで検出された長周期イベント(“とても”低い周波地震)の発生過程
2003-G-07	市村 強	東北大・院工	堀 宗朗	統合地震シミュレータのプロトタイプ開発のための研究
2003-G-08	佐々木真人	東大・宇宙線	新谷昌人	微小振動測定装置を用いた微小力の精密測定
2003-G-09	高木朗充	気象庁気象研究所	大久保修平	富士山頂におけるハイブリッド重力観測
2003-G-10	小川康雄	東工大・火山流体研究センター	上嶋誠	三宅島火山の比抵抗構造探査
2003-G-11	里村幹夫	静岡大・理	大久保修平	富士山の活動に伴う重力の時間変化の研究
2003-G-12	藤 浩明	富山大・理	歌田久司	地磁気3成分の海底長期絶対観測手法の確立
2003-G-13	田島文子	広島大・理	ト部 卓	西南日本におけるコーダモーメントマグニチュードの決定とリアルタイム観測システムの構築
2003-G-14	仲谷 清	気象庁地磁気観測所	歌田久司	次世代ベクトル磁力計開発のためのH成分用オーバーハウザー磁力計の性能調査
2003-G-15	岩森 光	東大・院理	中井俊一	沈み込み帯における水・元素循環と火成活動の機構の解明
2003-G-16	林 愛明	静岡大・理	島崎邦彦	地震時の活断層の真のずれの量・変位センスの定量評価
2003-G-17	筒井智樹	秋田大・工学資源	渡辺秀文	重複反射波を用いた火山体内部構造の推定の試み
2003-G-18	湯元清文	九州大・院理	歌田久司	多点地磁気データを用いた地震発生前後の地下電気伝導度変化に関する研究
2003-G-19	小山順二	北大・院理	森田裕一	広帯域地震観測による火山性地震・構造性地震の時定数の研究
2003-G-20	新正裕尚	東京経済大・経営	中井俊一	南部フォッサマグナ丹沢岩体のジルコン地球化学
2003-G-21	井田喜明	姫路工業大・院理	及川 純	浅間山の最近の火山活動
2003-G-22	亀 伸樹	九州大・院理	山下輝夫	地震の動的破壊経路予測の基本的研究
2003-G-23	藤井郁子	気象庁地磁気観測所	歌田久司	地球磁場地域標準モデルの開発 - 長波長成分 -
2003-G-24	岩田尚能	山形大・理	三浦弥生	第四紀火山岩年代標準試料の作成
2003-G-25	熊澤峰夫	名古屋大・理	東原紘道	ACROSS開発の中間総括とさらに展開すべき研究課題の整理
2003-G-26	酒井治孝	九州大・比較社会文化	折橋裕二	ヒマラヤの変成岩ナップと付加体の岩石学的年代学的研究
2003-G-27	隅田育郎	金沢大・理	栗田 敬	樹枝状結晶中を伝播する超音波特性の室内実験による測定